



主要な農作物の生育情報

平成29年度 第5号

(平成29年8月4日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稲

農業総合センターの調査では、出穂期が平年より早まっています(表1)。草丈はやや長く、茎数は平年並からやや多い状況です。

病害虫は、斑点米カメムシ類、紋枯病の発生が平年より多くなっています。また、7月上旬と下旬に葉もち感染好適条件が連続して出現しているため、いもち病の発生が懸念されます。

表1 水稲の出穂状況

調査場所(※1)	品 種	移植期 (月.日)	出穂状況(※2)	
			出穂始期 (月.日)	出穂期 (月.日)
農業総合センター本部	コシヒカリ	5. 1	8. 2 (8. 5)	(8. 7)
	天のつぶ	5. 1	7.28 (7.30)	7.31 (8. 1)
	ひとめぼれ	5. 1	7.25 (7.29)	7.29 (7.31)
	コシヒカリ	5.15	(8.10)	(8.12)
	天のつぶ	5.15	8. 2 (8. 4)	(8. 5)
	ひとめぼれ	5.15	8. 1 (8. 2)	(8. 3)
会津地域研究所	コシヒカリ	5.20	8. 3 (8. 4)	(8. 7)
	天のつぶ	5.20	7.31 (8. 1)	8. 3 (8. 3)
	ひとめぼれ	5.20	7.28 (7.30)	7.31 (8. 1)
浜地域研究所	コシヒカリ	5.10	(8. 8)	(8. 9)
	天のつぶ	5.10	7.31 (8. 2)	8. 1 (8. 4)
	ひとめぼれ	5.10	7.29 (7.31)	7.31 (8. 2)

※1 調査場所：農業総合センター本部(郡山市)、浜地域研究所(相馬市)、会津地域研究所(会津坂下町)

※2 出穂状況の空欄は、現時点で未確定である。()内は、前5ヶ年の平均。

2 大豆

農業総合センターの調査では、開花期が農業総合センター本部(郡山市)で平年より4日早く、会津地域研究所(会津坂下町)で平年並となっています。

生育量(地上部乾物重)は、農業総合センター本部(郡山市)、会津地域研究所(会津坂下町)、浜地域研究所(相馬市)ともに平年より多い状況です

【野菜】

1 きゅうり

5月下旬定植の露地栽培の収穫は、平年より10日程度遅く6月下旬から始まりましたが、気温の上昇に伴い収穫量は増加しています。施設抑制栽培の定植は、平年並の7月下旬から順次行われており、ほぼ順調に生育しています。

病害虫は、一部ほ場で炭そ病が発生しています。

2 トマト

4月定植の作型の生育は、6月の低温の影響により着色に時間を要していましたが、気温の上昇により着色が進み収穫量が増加しています。現在は高温のため、一部ほ場で萎れ、落花が見られますが、かん水や遮光等により草勢は概ね維持されています。

病害虫は、一部ほ場で灰色かび病、コナジラミ類が発生しています。

3 ピーマン

5月定植の露地栽培は、平年並の7月上旬から出荷が始まりました。花落ちや尻腐果が発生しているほ場では積極的なかん水が行われており、今後は収穫量の増加が見込まれています。

病害虫は、一部ほ場でオオタバコガや炭そ病が発生しています。

4 さやいんげん

5月中下旬定植の作型の生育は、平年より10日程度遅く収穫ピークを過ぎました。6月から7月

播種の作型はツルの伸張中で開花から収穫期を迎えています。
病害虫は、一部ほ場でアブラムシ類が発生しています。

【果 樹】（8月1日現在：農業総合センター果樹研究所）

1 もも

果実肥大の暦日比較では、「あかつき」は縦径102%、側径104%と平年並であり、「ゆうぞら」は縦径110%、側径116%と平年より大きい状況です。満開後日数による比較では、「あかつき」は平年並で、「ゆうぞら」は平年より大きい状況です。

「あかつき」の収穫始期は7月31日で平年より2日早まりました。収穫始期における果実の大きさは289gと平年並、RM示度（糖度）は13.8と平年より高くなっています。

2 なし

果実肥大の暦日比較では、「幸水」は縦径108%、横径109%と平年よりやや大きく、「豊水」は縦径112%、横径114%と平年より大きい状況です。満開後日数による比較でも、両品種ともに平年より大きい状況です。

平均気温と降水量をもとにしたDVR予測プログラムによると、「幸水」の収穫盛期は平年より2日早い8月29日と予想されています。

3 りんご

果実肥大の暦日比較では、「つがる」は縦径106%、横径107%で平年よりやや大きく、「ふじ」は縦径100%、横径103%と平年並の状況です。満開後日数による比較では、「つがる」は平年よりやや大きく、「ふじ」は平年並の状況です。

【花 き】

1 小ギク

県北の8月咲きでは出荷が始まっています。しかし7月中旬以降、蕾の生育が停滞しており、品種や開花調節処理の有無によっては、開花期が1週間～10日程度遅れる見込みです。これは7月中旬以降の気温が低めに推移し、日照量も少なかったことによるものと考えられます。

9月咲きについては、概ね順調に推移しています。

病害虫では、オオタバコガやハダニ類、アザミウマ類の発生が増えてきました。

2 りんどう

8月盆咲きは出荷が始まっており、平年と比較して草丈や節数の値がやや下回っているものの開花期は平年並みで、盆需要期での出荷となるところが多い見込みです。

9月咲きについては8月咲き同様、草丈等で平年をやや下回っていますが、生育は概ね順調に推移しています。

病害虫の発生は、葉枯病、ハダニ類の発生が増えてきました。

【飼料作物】

1 牧草

7月下旬から2番草の収穫作業が行われています。収量は平年並となる見込みです。

2 飼料用とうもろこし

順調に生育が進み、収穫期・収量ともに平年並となる見込みです。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

暑い日が続きますので、熱中症対策をしっかりと行い、
体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>